

目標達成計画

作成日: 令和 2年 1月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプラン作成において、現状を把握している職員、ケアマネージャーは理解しているが、日々の介護において忘れがちな記録になっている。	介護サービスを記録する際、個人のプランに沿った記録を心がける。介護サービスがその利用者のケアプランのどの部分に該当するかを記録する。	毎月のモニタリングでケアマネージャーのプラン進行状況確認と、その状況にあったプランの作成を行い記録する。	12ヶ月
2	35	自然災害における避難訓練マニュアルはあるが、事業所として準備する非常時持ち出し品の整備が整っていない。緊急避難時の薬の持ち出しと一覧表を作成する。	消防避難訓練とは別に、自然災害時緊急避難訓練の実施と、災害時持ち出し品の整備を行う。	消防訓練時にあわせて、自然災害時の避難訓練を実施するが、薬の管理、実際の避難場所への誘導を行う。	12ヶ月
3	13	職員を育てる取り組み キャリアパスの制度確立に伴い、研修や資格取得の支援に会社としてバックアップ体制を整える。	資格取得の奨励、資格を取得することにより介護技術を高め、介護に自信を持って取り組んで頂きたい。	介護の研修を積極的に受講してもらえるよう勤務割に職員の希望を多く取り入れる。	12ヶ月
4	35	自然災害における避難訓練マニュアルに沿って、消防訓練時に避難訓練を行うほうが良い。	年2回の消防訓練を半年ごとに行い、定期的に避難訓練を行う。	自然災害が発生する恐れが年々増加していることから、市役所からの災害情報発令をもとに天気情報を記録につける。 施設前の河川の水位、雨の降り方の内容など。	12ヶ月
5	7	虐待防止委員会を2ヶ月に一度行う。	虐待に関する知識を身につける。	施設内にポスターを設置し、日常の接遇において常に注意するよう喚起を促す。	12ヶ月